

観光の拠点

◎水産商工観光課／商工業推進係・観光推進係 ☎内線 266・249

道の駅たるみず 森の駅たるみず

新 駅長
ご紹介

道の駅たるみず
森の駅たるみず
駅長 飯田 克己

道の駅たるみず「湯つ
足り館」は、穏やかな錦
江湾に面し、目の前に位
置する雄大な桜島は時に
大きな爆発音と共に黒煙
を噴き上げ、力強く豪快
な景色は圧巻です。そん
な非日常を目の当たりに
感じ取れる垂水に魅了さ
れ、この度運営させてい

ただくこととなりまし
た。大隅の入口となる重
要な役割を認識し、「景
観」・「食材」・「温泉」の
3つの魅力を最大限に活
用し、多くの皆様が気軽
に立ち寄れる道の駅を目
指し、安心安全な施設運
営を心掛けて参ります。



森の駅たるみず
駅長 穴井 光星

この度、猿ヶ城溪谷森
の駅たるみずの指定管理
をさせていただきま
す。株式会社ディセツボン
の穴井です。お客様に
ご満足いただけるよう誠
心誠意努めて参る所存で
ございます。また、森の
駅たるみずが、中央の拠
点としての位置づけを



しっかりと果たすべく運
営を行って参りたいと思
います。そして、垂水市
の交流人口の増加、地域
創生の発展に貢献できる
よう運営を頑張らせて参
ります。

就職促進

◎企画政策課／政策推進係 ☎内線 245



概要は
WEBで！

【アクセス経路】
トップ⇒暮らしの情報
⇒産業・労働・定住
⇒労働・就労
⇒垂水市企業ガイドブック
⇒垂水市企業ガイドブック
2021

垂水市企業ガイドブック 2021

38 事業所を1冊の ガイドブックに！

垂水市では、市内の企業
や事業所を紹介する「垂
水市企業ガイドブック
2021」を発刊しました。
これは、垂水市出身の若
者や新規学卒者、移住（U・
I・Jターン）希望者の方々
の市内企業への就職促進、
移住・定住促進を目的とし
て作成したものです。ガイ
ドブックには、漁業・建設
業・製造業をはじめ13業種
38社の会社概要や企業のア

ピールポイント、先輩社員
からのメッセージ等が掲載
されています。
ガイドブックは、垂水市
公式WEBサイトに公開さ
れているほか、冊子は垂水
市役所本庁舎、牛根・新城
両支所、ハローワークかの
や、垂水市商工会で無料配
布していますので、ぜひご
活用ください。（数に限り
がありますので、ご了承ください。）

たるみず歴史・文化散歩

『垂水に伝わる 郷土料理』



▲ 粟んかゆ

粟（あわ）んかゆ

令和元年、日本遺産「薩摩の
武士が生きた町麓を歩く」に垂
水麓が認定されました。麓とは
江戸時代、武士が住んだ地域の
ことをいいます。日本遺産に認
定されたのは、林之城跡（お長
屋）、垂水島津家墓所、殿加神
社、垂水人形です。林之城は現
在の垂水小学校に、250年以
上昔、垂水島津家4代久信公が
築かれ、明治2年まで、垂水の
政治の中心でした。

多くの文化財が、日本遺産と
して認定されましたが、他にも
後世に伝えるべきものが数多く
あります。

昔から伝わる郷土料理もその
一つです。「粟んかゆ」は垂水
で行われる祭りには必ずと言っ
ていいほど、用いられました。

さがんさあ詣（めい）

現在も日置市で行われている
島津義弘を祀る妙円寺詣りと同
じようなもので、垂水でも昭和
19年まで「さがんさあ詣」が行
われていました。「さがんさあ
」とは久信公のことを相模之守と
よんでいたからです。

さがんさあ詣りは、毎年1月
4日の夕方5時、垂水小学校に
士族の子どもが50名程集まり、
鹿屋へ向けて行進し、（久信公



▲さがんさあ詣（明治45年）

のお墓は訳あって鹿屋の安養寺
にありました）古江の宿で休憩・
仮眠をとり、翌朝出発し、朝8
時頃に寺に到着するもので、そ
の時にふるまわれていたのが粟
んかゆでした。他にも、旧暦の
12月14日夜7時頃、垂水小学校
の講堂に集まり、年配の男性か
ら「四十七士の討ち入り」のく
だりを聞いた後、夜食に出され
たのも粟んかゆでした。その後、
吉良上野介の首にみたてた人形
をさがしてくるという肝だめし
もあったそうです。

垂水独特の料理

粟んかゆの作り方は、もち粟
を30分ほど水につけ、おかゆを
炊く要領でトロ味がつくまでか
きまぜ、塩・黒砂糖・しょうが
で味を付け、もちや米粉団子な
どを具にぜんざいのように食べ
ています。現在では垂水市観光
協会が主催する「春をよぶ垂水
土人形展」などで、来客にふる
まわれています。他にも垂水独
特の料理が各地域に伝わってい
ます。新城・柘原の「二十三夜
まっちゃげだご」水之上の「本
城めんざん」海潟・中俣の「と
んきゅん汁（すい）大根そば」
牛根の「のいのまかね」などが
あります。

外食などなかった時代に季節
の野菜、魚などを使って、家
族や祭りの際、ごちそうとして
ふるまった愛情あふれるもので
す。素朴でありながら垂水の歴
史とも深く関わってきたこれら
の料理をふるさとの味として子
供達に伝承し、観光にも活かし
ていきたいと思っています。